

後腹膜腔lymphangioliomyomaの有無：なし
骨盤腔内lymphangioliomyomaの有無：なし
合併症：なし

所見：身長160.8cm、体重50.5kg、脈拍88/分、
血圧104/62mmHg

肺機能：

FEV₁：1.29L

FVC：3.39L

DLCO：5.96ml/min/mmHg

TLC：5.26L

FRC：3.01L

RV：1.78L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：なし

過膨張：あり

検査データ：

検査日：2012年11月22日

白血球数：5800/ μ L

赤血球数：499 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度：15.4 g/dL

ヘマトクリット：45.1%

血小板：20.9 $\times 10^4$ / μ L

好中球：51%

桿状核球：

好酸球：7.4%

好塩基球：1.2%

リンパ球：34.5%

単球：5.9%

その他：

AST(GOT)：21IU/L

ALT(GPT)：10IU/L

ALP：138IU/L

総ビリルビン：0.76mg/dL

総タンパク：7g/dL

BUN：11mg/dL

クレアチニン：0.44mg/dL

総コレステロール：223mg/dL

LDLコレステロール：116mg/dL

HDLコレステロール：79mg/dL

トリグリセライド：91mg/dL

血糖：80mg/dL

Na：140mEq/L

K：4mEq/L

Cl：104mEq/L

pH：6.5

比重：1.009

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：-

尿中クレアチニン：42mg/dL

アルブミン/クレアチニン比：<0.71

赤血球：<1/hpf

白血球：<1/hpf

尿細菌：-

HBs抗原：-

HBs抗体：3250 mIU/ml

HBc抗体：3.13

HCV抗体：-

現病歴

1998年に右気胸を発症し、肺生検により病理学的にLAMと診断された。2008年11月よりGnRH療法を開始している。2010年2月より夜間のみ在宅酸素療法を施行している。

治験登録年月日：2012年10月22日

治験経過

2012/10/22 治験同意取得。

2012/11/22にベースライン検査を実施。

検査の結果、HBs抗体 3250倍、HBc抗体 3.13 (陽性) (ワクチン接種なし)であった。本人に確認したが、明らかな感染原因は不明であった。しかし、抗体価が高値であるため脱落となった。

有害事象の有無と内容

該当しない

症例：002-026

年齢：43歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

発症年月：2010年2月

喫煙歴：なし

在宅酸素療法の有無：なし

結節性硬化症の有無：なし

血管筋脂肪腫の有無：なし

後腹膜腔lymphangioliomyomaの有無：あり

骨盤腔内lymphangioliomyomaの有無：なし

合併症：パニック障害

所見：身長166.2cm、体重71.5kg、脈拍71/分、
血圧119/85mmHg

肺機能：

FEV₁：1.65L

FVC：2.85L

DLCO：9.51ml/min/mmHg

TLC：4.90L

FRC：2.50L

RV：1.77L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：なし

過膨張：なし

検査データ：

検査日：2012年12月06日

白血球数：8400/ μ L

赤血球数：474 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度：14.1g/dL

ヘマトクリット：42.1%

血小板：255 $\times 10^4$ / μ L

好中球：72.0%

桿状核球：

好酸球：0.8%

好塩基球：0.4%

リンパ球：22.4%

単球：4.4%

その他：

AST(GOT)：17IU/L

ALT(GPT)：10IU/L

ALP：193IU/L

総ビリルビン：0.44mg/dL

総タンパク：7.2g/dL

BUN：13mg/dL

クレアチニン：0.6mg/dL

総コレステロール：166mg/dL

LDLコレステロール：89mg/dL

HDLコレステロール：64mg/dL

トリグリセライド：59mg/dL

血糖：98mg/dL

Na：138mEq/L

K：4.9mEq/L

Cl：103mEq/L

pH：5.5

比重：1.021

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：-

尿中クレアチニン：164mg/dL

アルブミン/クレアチニン比：0.55

赤血球：1-4/hpf

白血球：1-4/hpf

尿細菌：-

HBs抗原：-

HBs抗体：-

HBc抗体：-

HCV抗体：-

現病歴

数年前から労作時に息切れを感じていた。人間ドックでも肺機能低下を指摘されていたが放置していた。胸部CTではLAMに合致する多発性嚢胞を認めた。血清VEGF-D 1363 pg/ml (2012/06/21)、後腹膜腔lymphangioliomyoma(+)より、LAMと臨床診断した。

治験登録年月日：2012年12月6日

治験経過

2012/12/6 治験同意取得。

2012/12/6にベースライン検査を実施。

2012/12/20より治験薬の内服を開始した。

2012/12/27にVisit 2を実施予定。

有害事象の有無と内容

特記すべき事象なし

症例：002-027

年齢：52歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

発症年月：1987年頃

喫煙歴：なし

在宅酸素療法の有無：なし

結節性硬化症の有無：なし

血管筋脂肪腫の有無：なし

後腹膜腔lymphangioliomyomaの有無：あり

骨盤腔内lymphangioliomyomaの有無：なし

合併症：脂質異常症

所見：身長159cm、体重53.0kg、脈拍107/分、
血圧140/70mmHg

肺機能：
FEV₁：0.69L
FVC：2.69L
DLCO：5.54ml/min/mmHg
TLC：5.94L
FRC：3.82L
RV：2.70L
胸部レントゲン所見
気胸：なし
浸潤：なし
滲出：なし
小結節：なし
嚢胞性変化：あり
過膨張：あり

検査データ：

検査日：2013年1月23日
白血球数：4200/ μ L
赤血球数：564 $\times 10^4$ / μ L
ヘモグロビン濃度：17.8g/dL
ヘマトクリット：51.0%
血小板：180.0 $\times 10^4$ / μ L
好中球：61.0%
桿状核球：
好酸球：1.0%
好塩基球：0.2%
リンパ球：31.3%
単球：6.5%
その他：
AST(GOT)：21IU/L
ALT(GPT)：15IU/L
ALP：184IU/L
総ビリルビン：0.57mg/dL
総タンパク：7.2g/dL
BUN：19mg/dL
クレアチニン：0.67mg/dL
総コレステロール：211mg/dL
LDLコレステロール：144mg/dL
HDLコレステロール：50mg/dL
トリグリセライド：58mg/dL
血糖：97mg/dL
Na：141mEq/L
K：3.9mEq/L
Cl：103mEq/L
pH：6.0
比重：1.016
尿糖：-
尿蛋白：-

亜硝酸塩：
尿潜血：-
尿中クレアチニン：79mg/dL
アルブミン/クレアチニン比：10.4
赤血球：<4/hpf
白血球：1-4/hpf
尿細菌：-
HBs抗原：-
HBs抗体：-
HBc抗体：-
HCV抗体：-

現病歴

27歳時を初発として、右気胸を3回経験していた（詳細な時期は不明）。1997年頃よりmMRC 1の息切れを感じるようになった。2002年10月に当科を初診。LAMに合致する胸部CT所見から臨床的にLAMと診断した。息切れの悪化があり、2010年12月よりGnRH療法を開始した。

治験登録年月日：2012年12月13日

治験経過

2012/12/13 治験同意取得。
2013年1月にベースライン検査を実施する予定。

有害事象の有無と内容

該当しない

症例：002-028

年齢：38歳
原疾患：リンパ脈管筋腫症
発症年月：1996年12月
喫煙歴：なし
在宅酸素療法の有無：なし
結節性硬化症の有無：なし
血管筋脂肪腫の有無：右腎AMLのため右腎臓摘出後、肝臓にもAMLあり
後腹膜腔lymphangioliomyomaの有無：なし
骨盤腔内lymphangioliomyomaの有無：なし
合併症：脂質異常症

所見：身長163.9cm、体重60kg、脈拍88/分、
血圧120/74mmHg

肺機能：
FEV₁：1.43L
FVC：2.92L
DLCO：10.5 ml/min/mmHg

TLC: 4.61L
FRC: 2.69L
RV: 1.59L
胸部レントゲン所見
気胸: なし
浸潤: なし
滲出: なし
小結節: なし
嚢胞性変化: なし
過膨張: なし

検査データ:

検査日: 2013年01月24日
白血球数: 4000/ μ L
赤血球数: 450 $\times 10^4$ / μ L
ヘモグロビン濃度: 13.9g/dL
ヘマトクリット: 40.6%
血小板: 280 $\times 10^4$ / μ L
好中球: 41.2%
桿状核球:
好酸球: 1.0%
好塩基球: 0.5%
リンパ球: 52.5%
単球: 4.8%
その他:
AST(GOT): 18IU/L
ALT(GPT): 9IU/L
ALP: 134IU/L
総ビリルビン: 0.69mg/dL
総タンパク: 7.7g/dL
BUN: 13mg/dL
クレアチニン: 0.84mg/dL
総コレステロール: 249mg/dL
LDLコレステロール: 165mg/dL
HDLコレステロール: 61mg/dL
トリグリセライド: 92mg/dL
血糖: 80mg/dL
Na: 138mEq/L
K: 4.1mEq/L
Cl: 103mEq/L
pH: 6.0
比重: 1.011
尿糖: -
尿蛋白: -
亜硝酸塩: -
尿潜血: ±
尿中クレアチニン: 80mg/dL
アルブミン/クレアチニン比: <0.375

赤血球: 1-4/hpf
白血球: 1個未満/hpf
尿細菌: -
HBs抗原: -
HBs抗体: -
HBc抗体: -
HCV抗体: -

経過: 現病歴

1996年12月に血尿を契機に右腎腫瘍を指摘され、右腎摘出術をうけた。病理診断はAMLであった。1997年2月に右気胸、7月にVATS肺生検でLAMと診断確定。1999年5月に当科初診。以後、定期的に受診、経過観察中。

治験登録年月日: 2012年12月20日

治験経過

2012/12/20 治験同意取得。

2013年1月にベースライン検査を実施する予定。

有害事象の有無と内容

該当しない

D. 考察

呼吸器感染症の流行期である冬期に治験がスタートしたためか、上気道炎、気管支炎、等の感染症に罹患し一時的に休薬する者が多かった。口内炎、皮疹、を高頻度に認めたが、特別な治療を要しない、あるいは対症療法、あるいは一時的休薬、等で対処可能なであった。

重症有害事象は2例で経験し、ともに入院を要した。1例(002-018)は、もともと低肺機能(FEV₁ 49.2%pred)であったためか、上気道炎・気管支炎ではあるが室内気吸入下でSpO₂ <90%と酸素化が低下(急性呼吸不全)し、入院管理を必要とした。退院時には在宅酸素療法を導入して退院したが、その後の外来で酸素療法を中止し得た。もう1例(002-023)はシロリムス内服開始後の初めての生理開始時に一致して激しい下腹部痛が出現して他院に緊急入院となったが、婦人科的精査を行っても明らかな原因は特定できなかった。シロリムス内服中止後自然経過し、現在では内服を再開している。

重症有害事象ではないが、有害事象のため現在内服中止して経過観察中の症例が1例存在する。本症例(002-012)はシロリムス内服

開始して約2週間後にニキビ、下痢、腹痛が出現し、特に腹痛が高度であったため内服を中止した。約7週後に1mg量から再開したが顎の局面状の発赤、腹痛が出現して、再開後約1週間で中止している。現在、内服を中止し経過観察中である。

記載すべきことなし

2. 実用新案登録
記載すべきことなし

3. その他
記載すべきことなし

E. 結論

目標63症例のLAM患者に対し、2年間シロリムスを投与し、有害事象の頻度を主要評価目的とする第Ⅱ相医師主導治験を実施中である。

F. 健康被害情報

気管支炎、急性呼吸不全、腹部痛

G. 研究発表

1. Ando K, Tobino K, Kurihara M, Kataoka H, Doi T, Hoshika Y, Takahashi K, Seyama K. Quantitative CT analysis of small pulmonary vessels in lymphangiomyomatosis. *Eur J Radiol.* 2012 Dec;81(12):3925-30.
2. Hayashi T, Koike K, Kumasaka T, Saito T, Mitani K, Terao Y, Ogishima D, Yao T, Takeda S, Takahashi K, Seyama K. Uterine angiosarcoma associated with lymphangiomyomatosis in a patient with tuberous sclerosis complex: an autopsy case report with immunohistochemical and genetic analysis. *Hum Pathol.* 2012 Oct;43(10):1777-84.
3. Hayashi T, Kumasaka T, Mitani K, Terao Y, Watanabe M, Oide T, Nakatani Y, Hebisawa A, Konno R, Takahashi K, Yao T, Seyama K. Prevalence of uterine and adnexal involvement in pulmonary lymphangiomyomatosis: a clinicopathologic study of 10 patients. *Am J Surg Pathol.* 2011 Dec;35(12):1776-85.
4. Tobino K, Hirai T, Johkoh T, Kurihara M, Fujimoto K, Tomiyama N, Mishima M, Takahashi K, Seyama K. Differentiation between Birt-Hogg-Dubé syndrome and lymphangiomyomatosis: quantitative analysis of pulmonary cysts on computed tomography of the chest in 66 females. *Eur J Radiol.* 2012 Jun;81(6):1340-6.

H. 知的財産権の出願・登録状況

記載すべきことなし

1. 特許取得

厚生労働科学研究費補助金

分担研究報告書

NHO 近畿中央胸部疾患センターの症例毎の報告書

研究分担者：井上 義一、林 清二、鈴木 克洋、露口 一成、橘 和延、新井 徹、杉本 親寿、所 昭宏、佐々木 由美子、松井 秀夫、井上 康、小橋 保夫、菅原 玲子、廣岡 亜矢、松田 能宣、大町 直樹、香川 智子、竹内 奈緒子、中尾 桂子、蓑毛 祥次郎、辻 泰佑、倉原 優、山本 聡美、直木 陽子、玉舎 学、園延 尚子、西條 伸彦、前倉 俊也、仲谷 健史

施設名：独立行政法人 国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

A. 研究の目的、必要性

近畿地域のLAM患者のQOLの向上が喫緊の課題となっている。シロリムスは、肺臓炎などの重篤副作用が見逃される懸念があり、安全性の確立が重要である。また、薬物濃度のトラフ値を測定し、用量を調節する必要もある。本研究の目的は、①治験データをPMDAに報告し、薬事承認を得るとともに、②シロリムスの長期投与の安全性を確立すること、③近畿LAM治療拠点を創ることである。

B. 本医師主導治験の計画と方法

本治験は、ファイザー社、ノーベルファーマ社、厚生労働省難治性疾患克服研究事業呼吸不全に関する調査研究班の支援を得て実施される多施設共同医師主導治験である。新潟大学医歯学総合病院に治験調整事務局をおき、全国9施設で統一プロトコールに基づいて行われる。以下に実施計画概要を示す。

実施計画書表題：リンパ脈管筋腫症に対するSiro limus投与の安全性に関する多施設共同治験-安全性を主要評価項目とした医師主導治験-

治験調整委員会：プロトコールの立案、倫理申請、規制当局、製薬企業との連絡交渉を行う。

調整医師：中田 光、井上義一、瀬山邦明、田澤立之、高田俊範、GCPアドバイザー：三上礼子

情報センター：新潟大学医歯学総合病院医療情報部 EDC作成、管理、データ解析 赤澤宏平

治験調整事務局：新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センターに置く。

血清バイオマーカー測定 (VEGF-D)：井上義一
治験実施施設：北海道大学病院、東北大学病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、信州大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、国立病院機構近畿中央胸部疾患センター、新潟大学医歯学総合病院、広島大学病院、福岡大学病院

受託臨床試験機関 (CRO)：調整事務局業務をサポートする。総合臨床メデフィ社およびノーベルファーマ社に委託する。

治験薬提供：ファイザー社が提供する。

目標症例数：25

登録期間：2012年8月1日～2012年12月31日

治験デザイン：第Ⅱ相オープン試験

主要評価項目：リンパ脈管筋腫症患者におけるシロリムス（ラパマイシン）の長期投与による有害事象の頻度

副次的評価項目：1) 肺一秒量 2) 努力生肺活量
3) QOLアンケート調査 4) 血清VEGF-D

選択基準：

a. 18歳以上の女性 b. インフォームド・コンセントの文書による同意が得られている患者
c. 胸部HRCTでLAMに一致するのう胞性変化を認め、次の1)～4)のいずれかを認める。

1) 生検によってLAMが確認されたこと 2) 乳び液中のLAM細胞クラスターの証明により細胞診診断されたこと 3) 血清VEGF-D値 \geq 800pg/mLであること 4) LAMに特徴的な臨床

所見を認めること（①結節性硬化症の診断が得られている；②腎血管筋脂肪腫の合併；③乳び胸水や乳び腹水の合併；後腹膜リンパ節や骨盤腔リンパ節の腫大）

治験のスケジュール：

2012年8月1日より患者登録を開始し、合計29例を登録した。2013年1月12日に全施設が東京に集まり、登録症例の症例検討を行った。Visit 4, 5において、薬物動態調査を10例において実施する。一方、50例が6ヶ月間服薬を終える2013年5月以降に6ヶ月目のデータとともにノーベルファーマが薬事承認申請を行う。その後、50例が1年服薬を終える2013年11月から中間報告書を作成し、2014年3月頃を目標にPMDAに提出する。その時点で薬事承認の見込みである。

治験の評価について

主要評価項目：被験者ごとに有害事象および副作用一覧表を作成する。また、それぞれの発現率を算出するとともに、発生した有害事象および副作用²を、症状別、因果関係別、（有害事象の）重症度別、時期別、患者背景別等に集計を行う。集計は、6, 12, 18, 24ヶ月目に行う。また、項目別の有害事象と副作用の発現率の比較を行う。

副次的評価項目：1) QOL アンケート、2) 肺機能検査のうち、肺一秒量および努力性肺活量 3) 血清 VEGF-D 濃度 4) 少数の患者における Sirolimus 薬物動態 (Cmax, Tmax)、すべての患者における血中トラフ値 5) 骨塩量の変化 6) 血清エストロゲン、プロゲステロン、テストステロン値の変化（女性の場合は、月経周期を症例カードに記載する）。7) 何らかの理由で、Sirolimus を 1mg で投与した被験者における 1mg 投与期間と 2mg 投与期間における Sirolimus 血中トラフ値の比較

倫理面への配慮

1. 新GCPに準拠してプロトコール及び同意説明文書を作成し、PMDAによる修正を経て、各施設においてIRB申請し、2012年9月までに承認を得た。また、プロトコールと同意説明文書は安全性監視委員会により審査修正を受け、2012年1月までに確定した。
2. 本研究においては、患者の遺伝情報を取り扱わない。また、患者名は、匿名番号化し、検体及び情報全て番号をもって取り扱うようにする。

番号と患者名の照合は、主治医のみが知りうるようにする。

3. 本試験の開始にあたり、試験は全担当医師は被験者本人に対し、試験内容を十分に説明し、本試験への参加について文書により被験者本人の自由意志による同意を取得する（添付）。また、被験者の同意に影響を及ぼすような実施計画等の変更が行われるときには、速やかに被験者に情報を提供し、試験等に参加するか否かについて被験者の意志を再度確認するとともに、事前に治審査委員会の承認を得て同意文書等の改訂を行い、被験者の再同意を得る。

C. 研究結果

近畿中央胸部疾患センターでは29例の同意取得後、25例に薬剤投与を開始した。薬剤投与例個々のベースライン時の症例背景データ及び主な検査データを以下に示す。

症例：003-001

年齢：44歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：気胸、労作時呼吸困難、喀血、腹部リンパ管腫、腹痛、血管筋脂肪腫（腎臓）、卵巣摘出、脂質異常症

所見：身長160.2cm、体重53.9kg、脈拍87/分、

血圧112/77mmHg

触診による痛み、腎血管筋脂肪腫が観られた

肺機能：

FEV1：1.13L

FVC：3.71L

DLCO:6.42ml/min/mmHg

TLC:5.44L

FRC：2.99L

RV：1.53L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：あり

検査データ：

検査日：2012年10月04日

白血球数：4500/ μ L

赤血球数：535 \times 10⁴/ μ L

ヘモグロビン濃度：14.4g/dL

ヘマトクリット：43.6%

血小板：27.4 \times 10⁴/ μ L

好中球：70.6%

桿状核球：

好酸球：4.0%

好塩基球：0.9%

リンパ球：20.1%

単球：4.4%

その他：

AST(GOT)：13IU/L

ALT(GPT)：16IU/L

ALP：185IU/L

総ビリルビン：0.60mg/dL

総タンパク：7.6g/dL

BUN：5.4mg/dL

クレアチニン：0.58mg/dL

総コレステロール：245mg/dL

LDLコレステロール：179mg/dL

HDLコレステロール：53mg/dL

トリグリセライド：114mg/dL

血糖：86mg/dL

Na：142mEq/L

K：4.5mEq/L

Cl：106mEq/L

pH：6.5

比重： \leq 1.005

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：-

尿中クレアチニン：35.84mg/dL

アルブミン/クレアチニン比：6.9

赤血球：/hpf

白血球：/hpf

尿細菌：

HBs抗原：-

HBs抗体：-

HBc抗体：-

HCV抗体：

経過：2012年10月19日よりシロリムス2mg/日で内服開始。内服開始後、口内炎出現。呼吸困難感はやや改善傾向であった。1月16日の血中濃度が4.5ng/mlであったため1月28日より3mg/日に増量。増量後1月30日より背部、胸部の圧迫感が出現したが、以前にもあった症状であり内服継続となった。3月1日の時点で胸部圧迫感は消失し、加療継続中。(小橋保夫)

症例：003-002

年齢：62歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症、結節性硬化症

合併症：労作時呼吸困難、慢性的な咳、血管筋脂肪腫(腎臓)、血尿、卵巣摘出、結節性硬化症、皮質結節、脂質異常症、顔面血管線維腫

所見：身長151.0cm、体重51.3kg、脈拍79/分、

血圧113/65mmHg

顔面血管線維腫、顔面血管線維腫、腎血管筋脂肪腫が観られた。

肺機能：

FEV1：1.03L

FVC：1.75L

DLCO:12.75ml/min/mmHg

TLC:3.94L

FRC：2.34L

RV：1.80L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：なし

検査データ：

検査日：2012年09月12日

白血球数：5200/ μ L

赤血球数：501 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度：15.3g/dL

ヘマトクリット：44.9%

血小板：17.8 $\times 10^4$ / μ L

好中球：59.0%

桿状核球：1.0%

好酸球：3.0%

好塩基球：0%

リンパ球：31.0%

単球：6.0%

その他：0%

AST(GOT)：31IU/L

ALT(GPT)：33IU/L

ALP：324IU/L

総ビリルビン：1.06mg/dL

総タンパク：7.4g/dL

BUN：11.9mg/dL

クレアチニン：0.74mg/dL

総コレステロール：173mg/dL

LDLコレステロール：51mg/dL

HDLコレステロール：109mg/dL

トリグリセライド：82mg/dL

血糖：103mg/dL

Na：141mEq/L

K：4.3mEq/L

Cl：105mEq/L

pH：5.5

比重：1.020

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：±

尿中クレアチニン：96.21mg/dL

アルブミン/クレアチニン比：5.6

赤血球：1/hpf

白血球：1/11-20H/hpf

尿細菌：-

HBs抗原：-

HBs抗体：-

HBc抗体：-

HCV抗体：-

経過：2012年8月15日同意取得。9月20日から内服開始。9月26日、腹痛、嘔吐認め、subileusとして他院入院。絶食、投薬で改善。10月22日から内服再開。Subileusの再発なし。抜歯のため、2013年2月1日から一時休業。(新井徹)

症例：003-003

年齢：36歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：乳び胸水、労作時呼吸困難、乳び腹水、腹部リンパ管腫

所見：身長158.0cm、体重41.4kg、脈拍82/分、
血圧101/80mmHg 肝脾腫が観られた

肺機能：

FEV1：0.84L

FVC：2.20L

DLCO：5.13ml/min/mmHg

TLC：3.86L

FRC：2.29L

RV：1.32L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：なし

検査データ :

検査日 : 2012年09月20日

白血球数 : 5100/ μ L

赤血球数 : 497 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度 : 16.2g/dL

ヘマトクリット : 47.0%

血小板 : 21.4 $\times 10^4$ / μ L

好中球 : 76.0%

桿状核球 : 1.0%

好酸球 : 2.0%

好塩基球 : 0.4%

リンパ球 : 18.0%

単球 : 6.0%

その他 :

AST(GOT) : 19IU/L

ALT(GPT) : 13IU/L

ALP : 327IU/L

総ビリルビン : 0.74mg/dL

総タンパク : 7.6g/dL

BUN : 9.6mg/dL

クレアチニン : 0.57mg/dL

総コレステロール : 135mg/dL

LDLコレステロール : 73mg/dL

HDLコレステロール : 44mg/dL

トリグリセライド : 80mg/dL

血糖 : 79mg/dL

Na : 141mEq/L

K : 4.4mEq/L

Cl : 106mEq/L

pH : 5.5

比重 : ≥ 1.030

尿糖 : -

尿蛋白 : -

亜硝酸塩 : -

尿潜血 : -

尿中クレアチニン : 94mg/dL

アルブミン/クレアチニン比 : 5.1

赤血球 : 0/hpf

白血球 : 5-9/hpf

尿細菌 : -

HBs抗原 : -

HBs抗体 : -

HBc抗体 : -

HCV抗体 : -

経過 : 2012年08月15日同意取得。2012年11月07日治験薬開始。同意取得後、左気胸が発症し、治験薬投与まで時間を要した。気胸のため肺機能は測定不可。シロリムス2mg投与。副作用として皮疹、口角炎、下痢を認めた。2013年01月29日(V4)にて腹水増加、左胸水増加を認めた。乳び腹水、乳び胸水増加が疑われた。(杉本親寿)

症例 : 003-004

年齢 : 39歳

原疾患 : リンパ脈管筋腫症

合併症 : 労作時呼吸困難、咯血、血管筋脂肪腫(腎臓)、腎摘出、皮疹

所見 : 身長159.2cm、体重69.2kg、脈拍77/分、

血圧101/80mmHg 触診による痛み、腎血管筋脂肪腫が観られた

肺機能 :

FEV1 : 2.54L

FVC : 2.99L

DLCO : 15.391ml/min/mmHg

TLC : 4.60L

FRC : 2.40L

RV : 1.28L

胸部レントゲン所見

気胸 : なし

浸潤 : なし

滲出 : なし

小結節 : あり

嚢胞性変化 : なし

過膨張 : なし

検査データ :

検査日：2012年09月13日
白血球数：6400/ μ L
赤血球数：520 $\times 10^4$ / μ L
ヘモグロビン濃度：14.8g/dL
ヘマトクリット：44.4%
血小板：26.0 $\times 10^4$ / μ L
好中球：60.0%
桿状核球：2.0%
好酸球：4.0%
好塩基球：1.0%
リンパ球：30.0%
単球：5.0%
その他：0.0%
AST(GOT)：18IU/L
ALT(GPT)：19IU/L
ALP：194IU/L
総ビリルビン：1.47mg/dL
総タンパク：7.3g/dL
BUN：11.9mg/dL
クレアチニン：0.87mg/dL
総コレステロール：197mg/dL
LDLコレステロール：141mg/dL
HDLコレステロール：45mg/dL
トリグリセライド：134mg/dL
血糖：92mg/dL
Na：141mEq/L
K：4.2mEq/L
Cl：104mEq/L
pH：6.5
比重：1.025
尿糖：-
尿蛋白：-
亜硝酸塩：-
尿潜血：-
尿中クレアチニン：179mg/dL
アルブミン/クレアチニン比：16.6
赤血球：0/hpf

白血球：3+/hpf
尿細菌：5+
HBs抗原：-
HBs抗体：-
HBc抗体：-
HCV抗体：-

経過：2012年8月29日同意取得。9月19日から内服開始。内服開始後、面皰様皮疹が出現するも軽快。2013年2月18日夕方から胸部不快感出現したが、セレベントとオルベスコ吸入にて改善した。喘息様気管支炎と診断。治験薬内服は継続中。（新井徹）

症例：003-005

年齢：48歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：労作時呼吸困難、血管筋脂肪腫（肝臓）、
血管筋脂肪腫（腎臓）、血尿

所見：身長153.0cm、体重47.5kg、脈拍73/分、
血圧120/74mmHg

肺機能：

FEV1：1.36L

FVC：2.63L

DLCO:8.16ml/min/mmHg

TLC:4.59L

FRC：2.55L

RV：1.59L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：なし

検査データ：

検査日：2012年09月06日

白血球数：5700/ μ L

赤血球数：476×10⁴/μL
ヘモグロビン濃度：15.3g/dL
ヘマトクリット：43.8%
血小板：20.9×10⁴/μL
好中球：65.0%
桿状核球：0%
好酸球：5.0%
好塩基球：0%
リンパ球：26.0%
単球：4.0%
その他：0%
AST(GOT)：17IU/L
ALT(GPT)：14IU/L
ALP：115IU/L
総ビリルビン：0.54mg/dL
総タンパク：7.4g/dL
BUN：23.9mg/dL
クレアチニン：0.75mg/dL
総コレステロール：202mg/dL
LDLコレステロール：132mg/dL
HDLコレステロール：60mg/dL
トリグリセライド：90mg/dL
血糖：84mg/dL
Na：143mEq/L
K：4.8mEq/L
Cl：107mEq/L
pH：6.0
比重：1.030
尿糖：-
尿蛋白：-
亜硝酸塩：-
尿潜血：1+
尿中クレアチニン：13.74mg/dL
アルブミン/クレアチニン比：17.3
赤血球：4/hpf
白血球：0/hpf
尿細菌：-

HBs抗原：-
HBs抗体：-
HBc抗体：-
HCV抗体：-

経過：2012年09月06日同意取得、2012年09月28日治験薬投与開始。シロリムス1mgにて血中濃度3.4ng/mlのため、シロリムス2mgに増量した。シロリムス血中濃度6.8ng/mlとなった。3月18日PK採血予定。効果は一秒量増加と体重増加。副作用は原因不明の帯状の胸痛を認めた。(杉本親寿)

症例：003-006

年齢：46歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：労作時呼吸困難、腹部リンパ管腫、皮疹

所見：身長154.1cm、体重31.8kg、脈拍86/分、

血圧112/69mmHg 皮疹が観られた

肺機能：

FEV1：0.57L

FVC：1.79L

DLCO：2.01ml/min/mmHg

TLC：3.65L

FRC：2.50L

RV：1.82L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：あり

検査データ：

検査日：2012年12月07日

白血球数：4400/μL

赤血球数：461×10⁴/μL

ヘモグロビン濃度：14.9g/dL

ヘマトクリット：43.6%

血小板：21.4×10⁴/μL

好中球：75.0%

桿状核球：4.0%

好酸球：0%

好塩基球：0%

リンパ球：24.0%

単球：1.0%

その他：0%

AST(GOT)：19IU/L

ALT(GPT)：20IU/L

ALP：327IU/L

総ビリルビン：0.97mg/dL

総タンパク：7.4g/dL

BUN：15.8mg/dL

クレアチニン：0.60mg/dL

総コレステロール：183mg/dL

LDLコレステロール：85mg/dL

HDLコレステロール：91mg/dL

トリグリセライド：40mg/dL

血糖：94mg/dL

Na：144mEq/L

K：4.2mEq/L

Cl：107mEq/L

pH：6.0

比重：1.010

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：-

尿中クレアチニン：

アルブミン/クレアチニン比：11.4

赤血球：0/hpf

白血球：1/hpf

尿細菌：-

HBs抗原：-

HBs抗体：-

HBc抗体：-

HCV抗体：-

経過：2012年9月19日同意取得。12月14日内服開始。左歯肉痛，感染性胃腸炎，口内炎を認めましたが，いずれも軽快し，内服継続中。（新井徹）

症例：003-007

年齢：38歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：その他のアレルギー、労作時呼吸困難、慢性的な咳、腹部リンパ管腫、血管筋脂肪腫（腎臓）、塞栓形成（腎臓）、脂質異常症、皮疹

所見：身長164.2cm、体重76.0kg、脈拍86/分、

血圧128/85mmHg

肺機能：

FEV1：1.38L

FVC：1.71L

DLCO:10.711ml/min/mmHg

TLC:3.93L

FRC：1.87L

RV：1.33L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：なし

過膨張：なし

検査データ：

検査日：

白血球数：/μL

赤血球数：×10⁴/μL

ヘモグロビン濃度：g/dL

ヘマトクリット：%

血小板：×10⁴/μL

好中球：%

桿状核球：%
好酸球：%
好塩基球：%
リンパ球：%
単球：%
その他：
AST(GOT)：IU/L
ALT(GPT)：IU/L
ALP：IU/L
総ビリルビン：mg/dL
総タンパク：g/dL
BUN：mg/dL
クレアチニン：mg/dL
総コレステロール：mg/dL
LDLコレステロール：mg/dL
HDLコレステロール：mg/dL
トリグリセライド：mg/dL
血糖：mg/dL
Na：mEq/L
K：mEq/L
Cl：mEq/L
pH：
比重：
尿糖：
尿蛋白：
亜硝酸塩：
尿潜血：
尿中クレアチニン：mg/dL
アルブミン/クレアチニン比：
赤血球：/hpf
白血球：/hpf
尿細菌：
HBs抗原：
HBs抗体：+
HBc抗体：+
HCV抗体：
経過：同意取得したが、HBs抗体、HBc抗体陽性

のため除外された。(杉本親寿)

症例：003-008

年齢：37歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：労作時呼吸困難、腹部リンパ管腫、血尿

所見：身長158.8cm、体重54.5kg、脈拍72/分、

血圧123/85mmHg

肺機能：

FEV1：1.38L

FVC：1.71L

DLCO:10.711ml/min/mmHg

TLC:3.93L

FRC：1.87L

RV：1.33L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：なし

過膨張：なし

検査データ：

検査日：2012年11月16日

白血球数：4600/ μ L

赤血球数：489 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度：14.7g/dL

ヘマトクリット：43.1%

血小板：18.0 $\times 10^4$ / μ L

好中球：80.0%

桿状核球：2.0%

好酸球：2.0%

好塩基球：0%

リンパ球：7.0%

単球：2.0%

その他：0%

AST(GOT) : 18IU/L
ALT(GPT) : 18IU/L
ALP : 131IU/L
総ビリルビン : 0.90mg/dL
総タンパク : 7.5g/dL
BUN : 14.9mg/dL
クレアチニン : 0.72mg/dL
総コレステロール : 169mg/dL
LDLコレステロール : 109mg/dL
HDLコレステロール : 52mg/dL
トリグリセライド : 47mg/dL
血糖 : 88mg/dL
Na : 140mEq/L
K : 4.0mEq/L
Cl : 102mEq/L
pH : 6.0
比重 : 1.020
尿糖 : -
尿蛋白 : -
亜硝酸塩 : -
尿潜血 : 2+
尿中クレアチニン : mg/dL
アルブミン/クレアチニン比 : 10.2
赤血球 : 9/hpf
白血球 : 0/hpf
尿細菌 : -
HBs抗原 : -
HBs抗体 : -
HBc抗体 : -
HCV抗体 : -

経過 : 2012年11月30日よりシロリムス2mg/日にて内服開始。12月2日より下痢、12月3日より味覚障害、12月8日よりざ瘡悪化、12月9日より倦怠感出現。ざ瘡、口内炎は悪化傾向であったが、食事摂取可能であり、12月11日の血中濃度が4.9ng/mlであったため12月21日より3mg/日に増量。その後も副作用は悪化傾向であったがノイエル内服にて2013年1月上旬より口内炎は改善傾向となった。1月28日の血中濃度は7.9ng/mlであつ

た。その後生理不順となっていたが、子宮癌検診にて不正出血が続いていることを指摘されたため3月5日よりシロリムス内服中止となった。(小橋保夫)

症例 : 003-009

年齢 : 49歳

原疾患 : リンパ脈管筋腫症

合併症 : 労作時呼吸困難、腹部リンパ管腫、腹痛、脂質異常症、更年期障害

所見 : 身長157.8cm、体重61.1kg、脈拍66/分、
血圧113/69mmHg

肺機能 :

FEV1 : 2.63L

FVC : 3.18L

DLCO : 10.88ml/min/mmHg

TLC : 5.40L

FRC : 2.69L

RV : 1.78L

胸部レントゲン所見

気胸 :

浸潤 :

滲出 :

小結節 :

嚢胞性変化 :

過膨張 :

検査データ :

検査日 : 2012年09月26日

白血球数 : 5000/ μ L

赤血球数 : 506 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度 : 15.4g/dL

ヘマトクリット : 45.2%

血小板 : 22.8 $\times 10^4$ / μ L

好中球 : 68.0%

桿状核球 : 1.0%

好酸球 : 3.0%

好塩基球 : 1.0%

リンパ球：24.0%
単球：4.0%
その他：0%
AST(GOT)：19IU/L
ALT(GPT)：23IU/L
ALP：203IU/L
総ビリルビン：1.12mg/dL
総タンパク：8.1g/dL
BUN：15.5mg/dL
クレアチニン：0.69mg/dL
総コレステロール：262mg/dL
LDLコレステロール：84mg/dL
HDLコレステロール：66mg/dL
トリグリセライド：94mg/dL
血糖：96mg/dL
Na：143mEq/L
K：4.8mEq/L
Cl：105mEq/L
pH：6.0
比重：1.020
尿糖：-
尿蛋白：-
亜硝酸塩：-
尿潜血：-
尿中クレアチニン：82mg/dL
アルブミン/クレアチニン比：5.6
赤血球：0/hpf
白血球：0/hpf
尿細菌：2+
HBs抗原：-
HBs抗体：-
HBc抗体：-
HCV抗体：-
経過：2012年9月26日同意取得。10月24日内服開始。上気道炎、インフルエンザと思われる発熱、関節痛を認めた。いずれも軽快。治験薬内服継続中。(新井徹)

症例：003-010
年齢：37歳
原疾患：リンパ脈管筋腫症
合併症：労作時呼吸困難、慢性的な咳、尿蛋白、血尿、脂質異常症
所見：身長157.5cm、体重40.4kg、脈拍108/分、
血圧127/85mmHg
肺機能：
FEV1：0.55L
FVC：2.60L
DLCO:3.531ml/min/mmHg
TLC:6.45L
FRC：4.65L
RV：3.48L
胸部レントゲン所見
気胸：なし
浸潤：あり
滲出：なし
小結節：なし
嚢胞性変化：あり
過膨張：あり
検査データ：
検査日：2012年11月22日
白血球数：5700/ μ L
赤血球数：540 $\times 10^4$ / μ L
ヘモグロビン濃度：15.2g/dL
ヘマトクリット：46.6%
血小板：18.0 $\times 10^4$ / μ L
好中球：65.0%
桿状核球：0.0%
好酸球：2.0%
好塩基球：3.0%
リンパ球：24.0%
単球：5.0%
その他：0.0%

AST (GOT) : 25IU/L
ALT (GPT) : 18IU/L
ALP : 323IU/L
総ビリルビン : 0.88mg/dL
総タンパク : 8.5g/dL
BUN : 19.2mg/dL
クレアチニン : 0.71mg/dL
総コレステロール : 182mg/dL
LDLコレステロール : 87mg/dL
HDLコレステロール : 92mg/dL
トリグリセライド : 61mg/dL
血糖 : 101mg/dL
Na : 143mEq/L
K : 4.9mEq/L
Cl : 99mEq/L
pH : 5.5
比重 : ≥ 1.030
尿糖 : -
尿蛋白 : 2+
亜硝酸塩 : -
尿潜血 : 3+
尿中クレアチニン : 316.53mg/dL
アルブミン/クレアチニン比 : 123.5
赤血球 : 5-9/HPF/hpf
白血球 : ≥ 100 /HP/hpf
尿細菌 : -
HBs抗原 : -
HBs抗体 : -
HBc抗体 : -
HCV抗体 : -

経過 : 2012年9月26日に同意取得。11月28日内服開始。明らかな有害事象なく内服継続中。(新井徹)

症例 : 003-011

年齢 : 63歳

原疾患 : リンパ脈管筋腫症

合併症 :

所見 : 身長cm、体重kg、脈拍/分、血圧mmHg

肺機能 :

FEV1 : L

FVC : L

DLCO : ml/min/mmHg

TLC : L

FRC : L

RV : L

胸部レントゲン所見

気胸 :

浸潤 :

滲出 :

小結節 :

嚢胞性変化 :

過膨張 :

検査データ :

検査日 :

白血球数 : / μ L

赤血球数 : $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度 : g/dL

ヘマトクリット : %

血小板 : $\times 10^4$ / μ L

好中球 : %

桿状核球 :

好酸球 : %

好塩基球 : %

リンパ球 : %

単球 : %

その他 : %

AST (GOT) : IU/L

ALT (GPT) : IU/L

ALP : IU/L

総ビリルビン : mg/dL

総タンパク : g/dL

BUN : mg/dL

クレアチニン : mg/dL
総コレステロール : mg/dL
LDLコレステロール : mg/dL
HDLコレステロール : mg/dL
トリグリセライド : mg/dL
血糖 : mg/dL
Na : mEq/L
K : mEq/L
Cl : mEq/L
pH :
比重 :
尿糖 :
尿蛋白 :
亜硝酸塩 :
尿潜血 :
尿中クレアチニン : mg/dL
アルブミン/クレアチニン比 :
赤血球 : /hpf
白血球 : /HPF/hpf
尿細菌 :
HBs抗原 :
HBs抗体 : +
HBc抗体 : +
HCV抗体 :
経過 : 同意取得したが、HBs抗体陽性のため除外された。(杉本親寿)

症例 : 003-012
年齢 : 40歳
原疾患 : リンパ脈管筋腫症
合併症 : 気胸、労作時呼吸困難、皮疹
所見 : 身長164.9cm、体重59.9kg、脈拍50/分、
 血圧105/67mmHg
肺機能 :
FEV1 : 2.61L
FVC : 3.34L
DLCO : 18.41ml/min/mmHg

TLC : 5.12L
FRC : 2.90L
RV : 1.72L
胸部レントゲン所見
気胸 : なし
浸潤 : なし
滲出 : なし
小結節 : なし
嚢胞性変化 : なし
過膨張 : あり

検査データ :
検査日 : 2012年09月28日
白血球数 : 3700/ μ L
赤血球数 : 414×10^4 / μ L
ヘモグロビン濃度 : 13.5g/dL
ヘマトクリット : 38.4%
血小板 : 20.1×10^4 / μ L
好中球 : 60.0%
桿状核球 : 3.0%
好酸球 : 2.0%
好塩基球 : 0%
リンパ球 : 29.0%
単球 : 2.0%
その他 : 0.0%
AST (GOT) : 15IU/L
ALT (GPT) : 11IU/L
ALP : 205IU/L
総ビリルビン : 0.50mg/dL
総タンパク : 6.5g/dL
BUN : 10.3mg/dL
クレアチニン : 0.66mg/dL
総コレステロール : 197mg/dL
LDLコレステロール : 115mg/dL
HDLコレステロール : 76mg/dL
トリグリセライド : 44mg/dL
血糖 : 95mg/dL

Na : 142mEq/L

K : 4.3mEq/L

Cl : 109mEq/L

pH : 7.0

比重 : 1.015

尿糖 : -

尿蛋白 : -

亜硝酸塩 : -

尿潜血 : ±

尿中クレアチニン : 106.49mg/dL

アルブミン/クレアチニン比 : 3.4

赤血球 : 0/hpf

白血球 : 0/hpf

尿細菌 : -

HBs抗原 : -

HBs抗体 : -

HBc抗体 : -

HCV抗体 : -

経過 : 2012年9月28日同意取得。10月10日から内服開始。口内炎を認めたが、改善し、治験薬内服継続中。(新井徹)

症例 : 003-013

年齢 : 45歳

原疾患 : リンパ脈管筋腫症

合併症 : 気胸、労作時呼吸困難、慢性的な咳、腎摘出

所見 : 身長149.0cm、体重40.0kg、脈拍90/分、
血圧116/79mmHg

肺機能 : 未実施

FEV1 : L

FVC : L

DLCO : ml/min/mmHg

TLC : L

FRC : L

RV : L

胸部レントゲン所見

気胸 : なし

浸潤 : なし

滲出 : なし

小結節 : なし

嚢胞性変化 : あり

過膨張 : あり

検査データ :

検査日 : 2012年10月03日

白血球数 : 4800/ μ L

赤血球数 : 414 \times 10⁴/ μ L

ヘモグロビン濃度 : 13.5g/dL

ヘマトクリット : 38.4%

血小板 : 20.1 \times 10⁴/ μ L

好中球 : 60.0%

桿状核球 : 3.00%

好酸球 : 2.0%

好塩基球 : 0.0%

リンパ球 : 29.0%

単球 : 3.0%

その他 : 0%

AST(GOT) : 13IU/L

ALT(GPT) : 11IU/L

ALP : 126IU/L

総ビリルビン : 0.56mg/dL

総タンパク : 7.5g/dL

BUN : 10.3mg/dL

クレアチニン : 0.61mg/dL

総コレステロール : 207mg/dL

LDLコレステロール : 111mg/dL

HDLコレステロール : 87mg/dL

トリグリセライド : 50mg/dL

血糖 : 86mg/dL

Na : 139mEq/L

K : 4.7mEq/L

Cl : 101mEq/L

pH : 6.5

比重 : 1.010

尿糖：-

尿蛋白：-

亜硝酸塩：-

尿潜血：-

尿中クレアチニン：46.77mg/dL

アルブミン/クレアチニン比：6.3

赤血球：0/hpf

白血球：0/hpf

尿細菌：-

HBs抗原：-

HBs抗体：-

HBc抗体：-

HCV抗体：-

経過：2012年10月18日よりシロリムス2mg/日に
て内服開始。10月24日より口内炎出現。10月25
日の血中濃度が3.7ng/mlと低値のため11月1日
から3mg/日に増量。11月9日の血中濃度が4.6ng
/mlのため11月20日より4mg/日に増量。体幹にざ
瘡様湿疹が出現、消失を繰り返しているが著明
な悪化はなかった。11月30日の血中濃度が7.5n
g/mlでその後特に問題なく加療継続中である。
(小橋保夫)

症例：003-014

年齢：40歳

原疾患：リンパ脈管筋腫症

合併症：気胸、労作時呼吸困難

所見：身長155.4cm、体重45.6kg、脈拍94/分、

血圧115/66mmHg

肺機能：未実施

FEV1：L

FVC：L

DLCO：ml/min/mmHg

TLC：L

FRC：L

RV：L

胸部レントゲン所見

気胸：なし

浸潤：なし

滲出：なし

小結節：なし

嚢胞性変化：あり

過膨張：なし

検査データ：

検査日：2012年10月05日

白血球数：5900/ μ L

赤血球数：480 $\times 10^4$ / μ L

ヘモグロビン濃度：14.5g/dL

ヘマトクリット：42.9%

血小板：24.7 $\times 10^4$ / μ L

好中球：73.0%

桿状核球：2.0%

好酸球：0%

好塩基球：0%

リンパ球：22.0%

単球：5.0%

その他：0%

AST(GOT)：15IU/L

ALT(GPT)：8IU/L

ALP：158IU/L

総ビリルビン：0.71mg/dL

総タンパク：7.0g/dL

BUN：4.6mg/dL

クレアチニン：0.54mg/dL

総コレステロール：159mg/dL

LDLコレステロール：73mg/dL

HDLコレステロール：82mg/dL

トリグリセライド：82mg/dL

血糖：85mg/dL

Na：142mEq/L

K：3.7mEq/L

Cl：105mEq/L

pH：6.0

比重：<=1.005

尿糖：-